

好きな人との楽しいはずの時間なのに、一緒にいるのがつらくなったり、相手がこわくなったりすることはありますか？

隠れている暴力！

# DATE DV

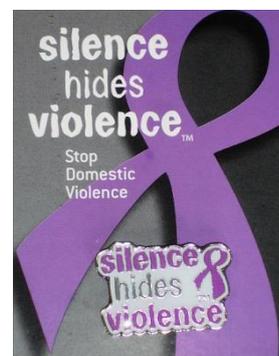


・・・デート DV と、恋人と良い関係をつくるヒント・・・

## 1 デート DV とは

交際中の男女間におこる暴力を「デート DV」と言います。本当は嫌なのに相手を思いやって我慢したり「私に甘えている証拠」と解釈して、相手を悪者にしないようにしている人が多いと思います。しかし次のような行為は「デート DV」と呼ばれる暴力なのです。

- ・ブス・デブ・バカ・能無しなどと、たびたび言われる
- ・突き飛ばされたり、髪を引っ張られたり、物を投げたりされる
- ・メールの履歴をチェックされ、行動や友達との付き合いを制限される
- ・貯金を勝手に引き落とされたり、無理やりお金を払わされたりする
- ・無理やり性行為をさせられ、拒絶しても応じてくれない



## 2 デート DV が起こるわけ

- ・イライラ期：恋愛をしていると相手のことを「自分だけのもの」と思い込みすぎ、「思い通りに支配しよう」として暴力に代わる
- ・バクハツ期：いったん支配する側、される側の関係が成り立つと暴力が繰り返され、どんどんひどくなる
- ・ラブラブ期：暴力がおさまり優しくされると、「暴力でなく愛されているのだ」と思ってしまい、暴力から抜け出しにくくなってしまう

## 3 良い関係を取り戻すために

- ・あなたと恋人との間に暴力が隠れていないか二人の関係を見直してみましよう
- ・少しずつでもいいから、暴力に対して「いやだ」と言ってみましよう
- ・暴力の問題を二人で解決するのが難しいときは、一人で悩まないで「助けて」と SOS をだす事が大切です。親しい人に相談しにくかったら専門の窓口にご相談ましよう。秘密は必ず守ってられます。

**With You さいたま TEL.048-600-3800 月～土 10:00～20:30**

**婦人相談センター TEL.048-863-6060 月～土 9:30～20:30**

☆「私はこう思う、こう感じる」と自分を主語にして気持ちを伝え、互いを尊重し合い、対等な関係が築けるようにましよう

(文・FICEC 理事長 石井 ナナエ)

特別  
寄稿

## 差別とは何か

## — 差別をなくすための日本語 —



人間は誰でも差別を受ける事を嫌がる。そして、差別はいけない行為だと思っている。でも、自分を守るため、もしくは自分を目立たせたいがために差別したがる、そんな矛盾を併せ持つ存在でもあるのが人間である。社会的な強者になると、弱者と同じ待遇を拒む事もある。以前、世間を騒がせた韓国の「ピーナッツ姫」がいい例だ。「特別待遇」ともいう世間一般から「逆差別」をされたがるのを見ると、人間にとって「差別」という感情は、根強いものだとわかる。特権層への差別をなくす事も大切な事だが、社会的な弱者への差別は、彼らの生命、生計と直結しているので、社会的弱者に対する差別をなくす問題は、大きな課題だ。

では、社会的な強者は誰であり、社会的な弱者は誰だろう。「外国人の人権」という枠の中で考えると、日本の国籍を持っている日本人は、やはり強者で、韓国人である私は、もちろん社会的な弱者と言える。しかし、私も、自分の国に戻った瞬間、逆に強者になるし、日本人であるあなたは、よその国へ行った途端、社会的な弱者に入れ替わる。すなわち、外国人の差別問題は、他人の問題でもあるが、自分自身の問題でもある。したがって、外国人という社会的弱者に配慮する事は外国人のための配慮ではなく、外国人になる可能性のある皆さんのための努力だという事を忘れてはいけない。言葉の通じない外国で差別されず、適切な待遇を受けたのであれば、その国の社会的な強者に感謝しなければいけない。

「差別を無くそう」というと、難しく考えるあまり、それは国が何とかしてくれる事だと他人事に思う人が多い。しかし、誰でも出来る、とても簡単な方法がある。私自身、初めて日本に来る際に、大学の教授から次のようなアドバイスをもらった。それは、「外国で差別されないためには、その国の教養のある人が使う言葉を習いなさい」、というものだ。私が外国人であることが分かった途端、態度が変わってゾンザイ語で返してくる人に会うことがしばしばある。「差別」とは、言葉から始まる。相手への言葉使いはその人の気持ちを表す。日本には敬語という美しい言葉がある。外国人は、皆、すきこのんで片言の日本語をしゃべっているわけではない。ちゃんとした日本語を、差別されない教養のある日本語が習える場がもっとあれば、きっと美しい日本語を話そうとするだろう。それは、日本への敬意の表明であり、また自らの人間としての尊厳を守る行為でもある。

(文・FICEC スタッフ 安 銀柱 アン ウンジュ)



12月22日、そば打ち体験をしました



1月12日、筆と墨で書初めをしました

3月の日本語教室イベント案内  
「ひな祭り」

3月3日は「ひな祭り」。女の子のいる家でお雛様という人形を飾り、白酒(白く濁ったあまみある酒)、ひしもち(ヒシと言う木の実の粉で作ったもち)などをお供えします。このお祭りは、女の子の健やかな成長を願い行うお祭りで、この時期は桃の花が盛りで「桃の節句」ともいいます。